

Bun voya!

越前市文化センターだより

Vol.5 2020. Summer

文化センターの「つぶやき」ならぬ「ぼやき」で文化センターへの旅を...



新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、越前市文化センターでも楽しみにして頂いていた様々な催しが中止となってしまっています。楽しみにして下さっていた皆様には心よりお詫び申し上げます。皆様のご健康と少しでも早い新型コロナウイルス感染症の収束を願っています。

越前市文化センターは当面制限付きでの開館となっております。皆様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。
2020年7月 越前市文化センター

あなたに聞きたい!



やまぐち しゅうほう
山口 秀法 さん

今回は中学・高校6年間を越前市(旧武生市)で過ごし、現在東京で音楽活動されている山口秀法さん(作編曲、スゴにお話をお聞きました。

文化センター(以下文)：武生ではどんな少年時代を過ごされましたか？

山口秀法さん以下山：中学はガリ勉タイプ、高校では勉強なるべく放棄系男子な感じでした(笑)

文：中学と高校、真逆!?

山：そうですね、どうしてそうなったのかよくわかりませんが...

中学時代は坪口純朗・晴美両先生にクラシックピアノを習っていました。とてもアットホームな雰囲気、丁寧かつ斬新に教えてくださったという印象が強いです。

高校時代もクラシックピアノは続けていましたが、松原正樹さん(C)のバンドに加わって週に数回の練習もしていました。松原さんも他のメンバーもみんな年上、わたしだけ年下で。面白かったですねえ。松原バンドはブルースロックやジャズロックが主なレパートリーでした。

文：とても充実した少年時代ですね! 中学高校時代から音楽の道に進もうと考えていたのですか？卒業と同時に上京ですか？

山：はい、音楽大学入学→卒業後プロ→現在に至る、です。

文：おおっ! 今までにどんなお仕事をして来られたんですか？

山：最初はアイドル歌手のサポートバンドをいろいろと、当時はそういうのが全盛でしたから。あと営業系ダンスバンドやビートルズバンドとかもやって、そのうちゲームミュージック、着メロ、カラオケ制作、CMやイベントの音楽制作などするようになっていきました。

歌手サポートは大学在学中からちよこちよやっていました。

文：へえ、すごい! かついいですね。今は主にどのようなお仕事をされているんですか？

山：やはり楽曲制作が中心ですけど、後進へのレッスンなどもやっています。音楽全般のたとえば楽典とかヒストリーとか、リズムアレンジやジャズの理論面などを教えたりしています。

文：それ! 地元の方に向けてワークショップをしてほしいです! 実技のほうはいかがですか？

山：鍵盤もの：ピアノ、オルガンなどのレッスンを。文：年齢層は? やはり若い方中心ですよ。

山：そんなことはなくて、中高年のひとたちも頑張っていますよ、主婦のかたとかも!

文：ところでこのところ越前市で演奏活動をしていらっしゃるという話をお聞きましたのですね。

山：そうですね、一昨年だったかな? そういうお話、機会をいただいて。最初は無理じゃないかなあ? と思っていたんですが、せっかくだからとにかくやってみようと思い、取り組み始めました。

文：どんな感じですか？

山：その時は「ジャズをやってほしい!」ってことで... なんと漠然としたリクエストでしたが(笑) 思いのほか皆さんに喜んでもらえて。

イベントライブものなのでまだ2回しか演じていませんが、今後も続けていけそうな気がしています。

文：バンド編成なんですね。

山：はい、なるべく福井県の演奏者たちと共演したかったんです。でも福井県でのライブは学生時代以来なので伝手がなくて、知人に探してもらったら、ナイスなプレイヤーがオッケーしてくれました!

勝山出身の大谷貴之さん(C)と今立出身の上坂朋佑さん(D)、この2人とのピアノトリオを中心にゲストを呼んだりして続けていけたら、と思っています。

文：内容はジャズジャズしい感じですか？

山：「半分jazz」というグループ名にしていますからねえ、いちおうは(笑)。すこしだけ広げていますが、アコースティックジャズがメインです。まだ出来立てホヤホヤとも言えるから、初々しい面もありますよ(笑)

文：それは楽しみですね。越前市文化センターでもぜひお願いいたします!

山：もちろん! 呼んでいただけたら喜んで(笑)。文：じゃあスケジュール空けておいてくださいな。

山：ありがとうございます! では、よろしくお願ひします! 楽しみですなあ!!



半分 jazz

文化センターでのコンサートにご期待ください!



ご要望にお応えし…



モーニングヨガ教室を開講します！

毎週火曜日 10:30～11:30 (8月から開催予定)

会 場：研修室 303 号室

会 費：3,000 円/月

定 員：20 名

持 ち 物：ヨガマット (なければバスタオル)

水分補給のための飲み物、汗拭きタオル

※ヨガ教室はマスク着用のうえ、参加者同士の距離を取り、適宜換気を行って開催いたします。

初心者大歓迎！ゆっくりと体を伸ばしてリフレッシュしましょう♪

夜 19:00～20:00 の (ナイト) ヨガ教室も引き続き開催いたします。



越前市文化センタージュニア合唱団「このとり」第 6 期生を募集します。

対 象：小学 2 年生～中学 2 年生で、練習会場に通うことができる児童・生徒

練習日時：毎週土曜日 13:30～15:30

会 場：主に練習室 202 号室

団 長：奥田健雄 副 団 長：佐々木啓子

指 導 者：天勝まゆみ・辻友美 伴 奏：鈴木志保子・原直美

参 加 費：1,000 円/月 (楽譜代・ファイル購入等の費用に支出いたします)

お申込み：申込用紙に必要事項をご記入の上、文化センターの窓口にお持ち頂るか、

FAX または、越前市文化センター宛メールにて送付してください

※9月より練習再開予定です。当面は練習時間を短縮し、距離を取りながらマスク着用のうえでの練習となります。



映画上映会「人生をしまう時間」

5 月に予定していた映画上映会でしたが、10 月に開催延期をさせていただきます。

森鷗外の孫で東大病院の名外科医だった小堀鷗一郎医師 80 歳がたどり着いた最後の現場は、「在宅」の終末期医療だった。患者と家族と向かい合い、最後の日々を過ごす一在宅医療チームに密着した 200 日の記録。

日 時：10 月 3 日 (土) 10:00～、14:00～、19:00～

(3 回上映、上映時間 110 分 各回とも限定 300 席)

会 場：大ホール

入 場 料：一般 1,000 円 友の会 800 円 大学生以下 500 円

チケット発売：9 月予定

※感染症拡大防止のためマスク着用・手指の消毒のご協力をお願いいたします。



第 73 回文化センター寄席 上方落語会

毎年 7 月に開催していた上方落語会を今年は 10 月に開催いたします。

出 演 者：桂千朝 桂雀喜 桂ちようば 桂弥太郎

日 時：10 月 18 日 (日) 14:00～ (限定 100 席)

会 場：小ホール

入 場 料：一般 1,500 円 友の会 1300 円 大学生以下 500 円

チケット発売：9 月予定

※感染症拡大防止のためマスク着用・手指の消毒のご協力をお願いいたします。



※越前市文化センター事業の案内は、ホームページに掲載しています。

<http://www.jigyodan-city-echizen.jp/b>

※Bunvoja!掲載の全ての講座・催しについては越前市文化センターまでお問合せください。

＜発行・編集＞2020 年 7 月 越前市文化センター 越前市高瀬 2 丁目 3-3 TEL:0778-23-5057 FAX:0778-21-1975

Bunvoja!は越前和紙を使用しています